

子会社の人材育成を考える ～宝ホールディングスの事例を通じて



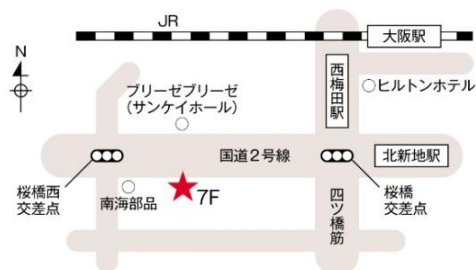
人間の親子関係は一筋縄でいかないものですが、企業経営も同様です。えてして親会社は子会社を厳しいコントロール下に置きたがり、ときには雇用の受け皿にしたい。子会社は自由を求めて親会社の束縛を嫌いつつ、いざというときには親がなんとか助けてくれるだろうという甘えを持つ。

その一方で、親会社の成長が頭打ちになると、子会社に積極的な業容拡大が期待されます。子会社といえども親の庇護のよりの”箱入り”を脱し、市場競争の荒波を生き抜くことが求められます。親の子離れ・子の親離れというテーマが、最近とみに顕在化してきたように思います。

今回は、宝酒造を中核とした宝ホールディングスの傘下にある大平印刷株式会社の経営事例を、同社副社長の水野整さんにお話しいただきます。水野さんは、宝酒造で経営企画、原価管理の再構築を担当された後に昨年現職に就き、経営改革を進めておられます。勉強会では、同社の事例を基に、子会社がビジョナリー(未来志向)な経営をする仕組みや仕掛けについて、特に人材育成を中心に議論したいと思います(ちなみに、座長の仕事でも、子会社の人材育成に携わることが増えてまいりました)

なお、水野さんからは年末年始恒例の「スパークリング清酒『霽』」をご提供いただきます。こちらも是非お楽しみに。

日時 2017年12月16日(土)14時～17時30分
(終了後、有志で懇親会を予定しています)
場所 若杉大阪駅前ビル7階会議室
人数 20名
会費 3,000円(税込)
お申込み こちらのサイトからお申込み下さい
<http://www.zeta-consulting.jp/>
主催 ゼータコンサルティング株式会社



桜橋ビジネス勉強会では・・・

➤こんなディスカッションをします

事前の知識は要りません。座長からの情報提供に基づいて、参加者同士で意見交換します
賢い発言は必要ありません。思ったこと・感じたことを素直に語り合います

※座長(情報提供・司会進行): 杉田英樹(ゼータコンサルティング株式会社代表取締役)